

映画の小箱

名作「ハムレット」が、
中世から19世紀の
華麗な宮廷に移って展開。

『ハムレット』 裏切りと、陰謀と、 愛とのはざままで

金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru



『ハムレット』は、何度観ても、次はどのようなのだろうと思わずにはいられない。それは、人が生きるといううえで、誰しもが持ち合わせている、あらゆる悲しみと愛が、ドラマのなかに溢れているからだろう。

ハムレットのように凝縮されたドラマティックさは、どこにもあるものではないかもしれない。しかし、彼が抱く生きる葛藤のどれか一つは必ず、誰の心のなかにもあるものだ。そして、彼の苦悩の場面は、見る者の年齢やその時に直面している人生によって、重ね合わせる部分が違ってくる。また、演出家がハムレットのどの部分に共鳴するかという思いによっても、見えてくる部分が違ってくる。だから、百回観れば、百通りのハムレットを見つけるかもしれない。それは、人という生き物の百の悲しみと愛なのだ。

かりにハムレットに、自分を見いだすことができないにしても、ハムレットを取り巻く人々は、いつの時代でも変わらぬ、あらゆる

人の姿と生きざまが、見事に描き出されている。もうハムレットの登場人物を見るだけでなく、まるですべての人の生きかたが出尽くしたかのようだ。野心、愛、裏切り、幸せ、不幸、純朴、お人好し、ひ弱、英雄、朴訥、饒舌、寡黙……さまざまな人があふれている。

デンマーク王国では、国王が亡くなった後、しばらくして結婚式が行われる。なんと亡き国王の王妃ガートルード（ジュリー・クリステイ）と、国王の弟クロディアス（デレク・ジャコビ）が結ばれるというのだ。その祝宴のなか、一人悲しみを抱くものがいた。王子のハムレット（ケネス・ブラナー）である。そんな彼の元に、友人と夜警（ジャック・レモン）から、国王の亡霊を見たとの報告が届く。亡霊になった国王は、クロディアスの陰謀によって殺されたと、ハムレットに告げる。ハムレットは、義父と母の裏切りを暴くべく動き出す。

ハムレットの行動に不審を抱いたクロデー

短時間でも、
長期間でも、
あなたのために尽くします。
大阪出張用のオフィスです。



会員募集中 ハービスPLAZA レンタルオフィス

落ち着いた場所で企画を考えたい、出張中でも仕事をこなしたい。そんなあなたのための、オフィスをご用意しました。場所は大阪駅のすぐそば。万全のサポート体制で、あなたをお待ちしています。

場所：ハービス PLAZA5F

営業時間：午前9時～午後7時（日・祝・年末年始・夏期定休）

■会員料金（1口）

タイプ	一日会員（月会費）		時間会員（月会費）	
	6ヶ月利用	3ヶ月利用	6ヶ月利用	3ヶ月利用
A (約5m ²)	90,000円	120,000円	27,000円	36,000円
B-C (約7m ²)	127,000円	169,000円	38,000円	51,000円
D (約12m ²)	220,000円	293,000円	66,000円	88,000円

●一日会員／会員登録いただいた方（法人も可）に限り、入会期間中いつでも自由にオフィスをご利用いただけます

●時間会員／会員登録いただいた方（法人も可）に限り、一日3時間までご自由にオフィスをご利用いただけます

※預託金として月会費1ヶ月分をお預かりいたします。あらかじめご了承ください

※この他にも、一般個人でご利用いただける、「時間利用」、「1日利用」のメニューがあります

お申し込み お問い合わせは
0120-816-489
ハイローヤック

交通機関のご案内

JR大阪駅より・・・徒歩約5分
阪神梅田駅より・・・徒歩約3分
地下鉄四つ橋線西梅田駅より・・・徒歩約5分
地下鉄御堂筋線梅田駅より・・・徒歩約8分



ハービスOSAKA 〒530 大阪市北区梅田2丁目5番25号
ハービスOSAKAは、ホテル、オフィス、商業施設、ホールが一体となった、今話題の超高層複合ビルです。



イアスは、ハムレットの友人ローゼンクランツとギルデンスターンと呼び寄せ、ハムレットの真意を探らせようとするが、ハムレットは心を閉めない。

ハムレットには、愛する恋人オフィーリア（ケイト・ウインズレット）がいた。二人は深く愛し結ばれていた。しかし、オフィーリアの父でクロードイアスの忠臣ポロニアス（リチャード・ブライアーズ）は、娘にハムレットと会うことを禁じていた。ところがハムレットが、最近、情緒不安定で行動不審に見える。それは、オフィーリアと会えないからの煩悶なのか。ハムレットの様子を見るべく、オフィーリアとハムレットを会わせた。しかし、ハムレットは、仕組まれた出会いに気づき、オフィーリアに冷たくあたる。愛を失ったと思ったオフィーリアは絶望に打ちのめされる。

これを見たクロードイアスは、ハムレットが恋に苦悶しているのでも精神の不安定でもなく、あきらかになにかを企んでいると察知し、彼を殺害するべく画策する。

一方、ハムレットはクロードイアスの謀略を突き止めるべく、旅の役者チャールトン・ヘストン）たちを宮廷に呼び、多くの観衆の

目の前で、なんと国王殺害の劇を演じさせた。その直後、母ガートルードの部屋に行ったハムレットは、父を裏切った王妃を激しく責める。この様子を陰で盗み聞いていたポロニアスは、ハムレットにクロードイアスと間違えられ殺された。

クロードイアスは、ハムレットをローゼンクランツとギルデンスターンと共に、イギリスに旅に出す。イギリス国王への手紙には、ハムレットを処刑するように、とあった。手紙を盗み見たハムレットは、自分が殺されることを知って、イギリスから舞い戻る。

そこに待ち受けていたのは、オフィーリアの事故死、そしてオフィーリアと父を失ったオフィーリアの兄レアティーズとの、クロードイアスに仕組まれたフェンシングでの対決だった。

今回の作品では、舞台を中世から十九世紀に移し変えてある。そのことよって、宮廷での登場人物の衣装の絢爛さと、宮廷の様式の美しさが、ハムレットの悲劇と対峙し、まさに様式美ともいえる美しさにまで、この悲劇が昇華されている。加えて役者陣の層の厚さが、脇の人の隅々のドラマに目をあて、しかもそれが全体で見事に融和しているのだ。

『ハムレット』

(イギリス) HAMLET

監督・脚色=ケネス・ブラナー

出演=ケネス・ブラナー/ケイト・ウインズレット/リチャード・ブライアーズ/

ジュリー・クリスティ/ビリー・クリスタル

東宝東和配給 1月下旬より日比谷みゆき座ほか公開